

2016年9月23日

株式会社デンソー
取締役社長 有馬 浩二

<重点健康施策>

健康への一歩が一人ひとりの、職場の、会社の活力になる

会社とともに一人ひとりが健康への第一歩を踏み出し、組織の健康レベルも向上していけるよう、3つのことに重点を置き活動を進めます。健康意識（ヘルス・リテラシー）を高め、「一人ひとり」が楽しく前向きに取り組めるよう、「職場」や「会社」全体で、健康施策を推進します。

■一人ひとりの健康のために

- 個々に応じた健康面での課題や目標値を把握するため、健康支援ツールなどを活用した『健康の見える化』を行います。
- e-Learning の導入や、健康診断時の保健指導など、病気予防に重点を置いた活動を推進します。

■職場で健康意識をアップ

- 各職場で『健康リーダー』を任命し、情報を集約。『健康リーダー』を中心に、コミュニケーションを活性化させることが、職場の健康レベル向上につながると考えます。
- 職場に応じた『健康アクションプラン』をもとに、職場の仲間とともに楽しく活動することで、互いの健康を気づかい合える風土を醸成していきます。

■会社全体をより働きやすい環境に

- デンソーとデンソー健康保険組合が有するデータに基づき、関連部署と連携して喫煙、メタボ、メンタルヘルスクエアなどの施策に引き続き取り組んでいきます。
- 健康支援ツールの充実を行います。
- 年齢や性別、国籍を問わず、すべての社員がより働きやすい制度の導入や、働き方変革の施策など、多様な人材が輝く元気な職場環境づくりに努めていきます。